

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

2
2016
FEBRUARY

山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた

30
th



周年事業の締めくくり 「創立30周年記念式典」開催

「なぜ同友会が必要とされるのか」

山形同友会創立30周年記念式典御礼

2月例会のご案内

山形同友会
創立30周年！
より地域に
必要な存在へ！！

2015年度スローガン

「なぜ同友会が必要とされるのか」



山形同友会は1月23日、山形市のホテルメトロポリタン山形にて、「創立30周年記念式典」を開催し、来賓の方をはじめ、会員企業、各地同友会、ゲスト、金融関係、大学生など約220名が参加しました。

30周年記念特別映像の上映後、西塔代表理事の挨拶で第1部が開会。来賓として山形県細谷副知事、山形財務事務所阿部所長、山形市佐藤市長、新庄市伊藤副市長、山辺町遠藤町長、中山町佐竹産業振興課長、山形県企業振興公社森谷理事長、日本政策金融公庫山形支店松倉支店長、山形県信用保証協会横澤理事長、山形県信用金庫協会青山山形信金常務、山形銀行武田常務、荘内銀行後藤常務、きらやか銀行栗野頭取、同じく高橋取締役、山形信用金庫鈴木常勤理事、鶴岡信用金庫野口専務理事が出席され、細谷副知事、佐藤市長そして中同協鋤柄会長からお祝いの挨拶をいただきました。

記念式典の中では会歴20年・30年表彰と、山形同友会設立時に多大なる協力をいただいたとし、中同協や他同友会へ感謝状の授与式が行われました。また、20年以上山形同友会を支えた伊藤事務局長へ感謝状と花束が贈られました。

記念講演は、中同協 専務幹事 松井清充氏が「つづれない会社のつくり方」と題し講演。労使見解のできた背景や歴史をひも解きながら、中小企業が抱える問題課題に対し積極的に取り組んでいる全国の事例を交え紹介。また、三つの目的の総合実践が同友会型企业とし、同友会運動の到達点を「潰れない企業⇒全社一丸⇒労使見解の



実践⇒人を生かす経営⇒三つの目的の総合実践」としました。

まとめとして、いま求められる企業・目標とされる企業・感謝される企業とは、経営の目的を人が生きることによって貢献するとした

企業。その為に儲かる企業づくりが必要であることを、社員全員が理解する。あの企業があってよかったと地域から感謝される企業が、潰れない企業づくりの目標であると締めくくりました。

最後に、「日銀の緩和引き締め」・「消費税10%」・「団塊の世代が70代に突入」の2017年問題を挙げ、今年中の対応を強調しました。

その後、「同友会の歩みと展望 ～なぜ同友会が必要とされるのか～」をテーマにパネルディスカッションが行われました。コーディネーターは中同協国吉顧問、パネリストとして中同協鋤柄会長、松井専務幹事、そして山形同友会西塔代表理事が登場しました。

59年前の同友会設立時を振り返り、なぜ同友会が必要なのか自社の発展にどうかしてきたか、同友会理念の普遍性を語っていただきました。



最後に西塔代表が「山形県全地域に同友会ができた。早急に会員500名を達成し、全市町村に同友会を広めたい」と決意を語りました。

国吉氏のまとめとして、「同友会が目指す企業づくり、地域づくり、同友会づくりを使命感を持って進め、地域

といい関係を作りながら、東北そして全国の模範となっ
 いただきたい]と締めくくりました。

第2部は祝賀パーティーが行われ、菅原実行委員長が
 挨拶。山形財務事務所阿部所長と山形商工会議所清野会
 頭より挨拶をいただき、きらやか銀行栗野頭取の乾杯で
 祝宴がスタートしました。

この祝賀パーティーでは、30周年を記念して会員企
 業13名で結成されたバンド、「ザ・サーティーズ」の演奏
 が披露されました。山形同友会の歴史を振り返り、その

節目にヒットした5曲を披露、会場に華をそえ、大盛会の
 内に閉会しました。



会歴30年・20年表彰者

NO	氏名	企業名	役職	入会年	支部
1	加藤 浩司	(株)加藤塗装所	代表取締役	1985	寒河江
2	菅野 耕吉	(株)スガタ商事	代表取締役会長	1986	寒河江
3	布施 健	布施建設(株)	代表取締役	1986	寒河江
4	秋葉 俊彦	(株)アキバナーセリー	代表取締役	1987	山形
5	阿部 秀俊	(株)山形ピッグファーム	会長	1987	山形
6	西塔 秀幸	社会保険労務士法人 西塔事務所	代表社員	1988	山形
7	森谷 巖	(株)アサヒメディック	代表取締役	1988	山形
8	黒沼 建一	(有)黒沼建築設計事務所	代表取締役	1989	さくらんぼ
9	半澤 清彦	(有)半澤鶏卵	代表取締役	1989	山形
10	伊藤 和憲	(株)伊藤青果	代表取締役	1992	さくらんぼ
11	結城 正樹	(株)三省堂印刷	代表取締役	1992	山形
12	長岡 壽一	弁護士法人LCC長岡法律事務所	所長	1993	山形
13	天口 信裕	天口会計事務所	所長	1994	山形
14	安藤 昌則	(株)アドクリーン	代表取締役	1994	寒河江
15	石山 秀雄	山形マルカ物産(株)	代表取締役	1994	山形
16	戸田 雅大	城西牛乳(株)	代表取締役	1994	山形
17	伊藤 宏子	アルテモードヒロコ	代表取締役	1995	新庄最上
18	越前屋 忍	(有)アド・プランニング越前屋	代表取締役	1995	山形
19	及川 忠幸	(有)東根給食センター	代表取締役	1995	さくらんぼ



感謝状授与者

NO	氏名	企業名	役職
1	田山 謙堂	中小企業家同友会全国協議会	顧問
2	赤石 義博	中小企業家同友会全国協議会	顧問
3	国吉 昌晴	中小企業家同友会全国協議会	顧問
4	佐藤 元一	宮城県中小企業家同友会	代表理事
5	豆腐谷栄二	福島県中小企業家同友会	参与
6	伊藤由紀子	山形県中小企業家同友会	事務局長



山形同友会 創立30周年記念式典御礼

実行委員長 菅原 茂秋

先日開催されました、山形県中小企業家同友会創立30周年記念式典の挙行にあたり、多数のご参加を賜り誠にありがとうございました。おかげさまで盛会裏に終えることが出来ました。記念式典実行委員会を代表して衷心より御礼申し上げます。

式典におきまして、20年在籍会員の方と30年在籍会員の方に長年にわたって当会を支えていただいたことに敬意を表し表彰をさせていただきました。また、創立に際しご尽力いただきました、中小企業家同友会全国協議会の国吉顧問をはじめ隣県同友会の皆様、そして20年間、事務局として同友会運動を支えていただいた伊藤事務局長に感謝状を贈呈させていただきました。改めて長年にわたり当会を支えていただきました皆様に御礼申し上げます。

記念講演では、中小企業家同友会全国協議会専務幹事の松井様より「つぶれない会社のつくり方」と題してお話いただきました。2017年以降、団塊世代の高齢化とともに中小企業の廃業が比較的短い期間に30%程度あることの影響や、消費税の増税、世界経済の動向などにより、中小企業の経営環境は間違いなくその流れに翻弄されることが予測されるなかで、私たち中小企業家が取り組むべき具体策を、全国の元気な中小企業の事例を交えてお話しいただきました。

また、パネルディスカッションでは山形同友会の創立30周年にあたり、同友会運動の必要性や意義をもう一度見つめ直す機会となり、先輩会員の皆様方がどのような思いでこの同友会を立ち上げられたのかをお伺いし、あらためて同友会運動の今後の重要性を理解する機会になったと思います。まさに「温故知新」、歴史に学び新しい時代を作り上げる役割を同友会と共に担っていきましょう。

懇親会では創立30周年記念式典開催にあたって同友会のメンバーで結成された、「ザ・サーティーズ」のクオリティーの高いバンド演奏と共に30年の歴史を振り返りながら、これからの展望を語り合う活気あふれる場となりました。サーティーズの皆さん大変ありがとうございました。

このたびの式典が皆様にとりまして、今後の同友会運動の発展とともに、地域の活性化、各会員企業の皆様の繁栄の一助となりますことをご祈念申し上げ、御礼のあいさつとさせていただきます。

2月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

決めたことをやらない会社からの脱却 ～社員と共に課題解決～

2016.2.23(火)18:30～21:00

場所：山形テルサ 2階 リハーサル室
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

報告者：(有)笹木製作所 代表取締役 笹木浩二氏

メーカーの製造部門の海外移転が進んで売上がダウンする中、現場リーダーの社員が退職。さらに次のリーダーも退職。この繰り返しに悩んでいた時、同友会に入会。

社員共育委員会で学び、社員の資質ではなく、自分に問題があったことに気づきます。そして、二年前に経営指針書を作成。実践に取り組む過程で、社員さんの労働環境が悪化し、問題が起こります。仕組みづくりの必要性を痛感した笹木氏は試行錯誤でP D C Aを回しながら課題の解決に取り組みます。不良品・残業時間などが大幅に改善され、お客様も広がってきています。

理念の「幸せづくりが出来る会社」をめざして社員さんと一緒にチャレンジする笹木氏の実践報告をもとに、組織づくりを考え合います。

寒河江支部

伸びる経営に必要な計数の見方・活かし方

2016.2.26(金)19:00～21:00

場所：寒河江市技術交流プラザ
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

講師：奥山享氏(税理士) (有)奥山経営センター 代表取締役

産業構造が変化し、情報化・ソフト化・サービス経済化の流れが急加速している今日では、現在の状況を的確につかみ、将来に対する対策を具体的に打ち出していく必要があります。状況把握といってもただ抽象的な情報を追いかけていたのでは、かえって情報過剰で混乱していきばかりです。

必要とされる情報は、明確にした自社の数値によって、しっかりと裏付けをとった後に分析し、経営に活かさなければなりません。2月例会は、(有)奥山経営センター代表取締役・奥山享先生のお話、伸びる会社に必要とされる計数を学び合います。

さくらんぼ支部

危機を救った経営指針！ ～経営指針づくりでつづいた、経営者としての覚悟～

2016.2.16(火)18:30～21:00

場所：タントクルセンター 2F 栄養指導室
東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者：(株)シオン 代表取締役 大山和宏氏

S51年にサッシ・ガラス工事業として創業し40年が経つ。住宅資材の卸販売業のほかに、H13年にリフォーム事業を始めました。4年前に代表取締役に就任し順調に推移してきましたが、一昨年、売上が3割減、ピーク時の半分まで落ち込みました。このままではと同友会の経営指針をつくる会を受講。そこで、「独自性」「地域に必要とされている会社か」「社員が生きていているか」との問いかけに、自信を持って答えられず、経営者の覚悟の重要性に気づきました。「人と自然にやさしい企業でありたい」と、進むべき道しるべが出来ることと語る大山社長の報告です。今の時代、会社を良くするために、経営者に求められるものは何かを話しあいましょう。

置賜支部

地域で生きていくということ ～業種の違う二つの会社を経営して～

2016.2.22(月)18:30～

場所：アクティー米沢
米沢市西大通り1-5-5 ☎0238-21-5655

報告者：(株)藤倉設備 (株)げんき(美女木げんき保育園)
代表取締役 藤倉利英氏

ある日、「病児保育事業をやってくれる方を小児科の先生が探している」という友人の相談を受けた藤倉氏は「みんなのためになりたい」と保育事業への参入を決意。しかし、畑違いの保育事業。そのため事業計画書を申請しては返されながら何とか認可を受けます。そして開園半年後、隣に小児科医院が開業。共稼ぎの両親にとって病児保育のニーズは高いが、いろいろな面でハードルが多く、病児保育をする園が少ないのが現実ということもあり、全国から視察に訪れています。全く違う二つの会社を運営する困難と向き合いチャレンジする藤倉氏に地域で生きることについて報告して頂きます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

庄内支部

同友会を活用した企業づくり

2016.2月24日(水)18:30～

場所：鶴岡市総合保険福祉センター「にこ♥ふる」
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-22-7722

報告者：株式会社タマツ 代表取締役 玉津弘之氏

庄内支部の初代の支部長、そして現在は共同求人委員会の委員長を務めるなど、永年にわたり同友会活動へ携わってきた(株)タマツ 玉津社長。同友会の例会や支部幹事会、また経営指針づくりや全国行事などを通して得た学びを、会社に持ち帰って実践。そこで得た体験を同友会の仲間と共有して更なる成長に繋げてきました。

今回は玉津社長が、同友会をどう活用して企業づくりをされてきたかをお聞きます。同友会の経験を積まれた方、これから同友会を歩き出される方、さらに同友会に興味をお持ちの方など多くの方からお集まりいただき、色々な角度から学び合える例会とします。ふるってご参加ください。

新庄最上支部

役に立たなければ仕事じゃない!

2016.2.23(火)18:30～

場所：わくわく新庄
新庄市下金沢町15番11号 ☎0233-23-0197

報告者：(有)アド・プランニング越前屋 代表取締役 越前屋忍氏

サラリーマン時代に同友会に入会。経営者としての生き方もあるのではなにかと独立。しかし、起業1年目にして最大の得意先を失う最大のピンチがやってきます。その後も2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災と次々にピンチに襲われ、一時は会社をやめようかとも考えるも、得意先や社員等多くの方からの支えを実感。

会社が何の為にあるのかを改めて自問自答し、あてにしてくれている方々の役に立ちたいと奮い立ちます。

いつもほがらかな越前屋社長の波瀾万丈記、起業社長の本音に学び合います。ふるってご参加ください。

第10回理事会報告

◆日時:2015年1月13日(水)午後2時~午後4時 ◆会場:山形ビッグウイング 401会議室 ◆議長:菅原副代表理事
 ◆出席者(敬称略):青柳等、阿部敦、安藤昌則、伊藤誠、越前屋忍、奥山正樹、川合勝芳、菊池幸生、小林敏郎、後藤智樹、西塔秀幸、齋藤志直、佐藤知志、白鳥明美、菅原茂秋、高橋明、玉津弘之、若木義寛(敬称略)事務局伊藤、矢作、高橋

■開会挨拶(西塔代表理事)

はじめに新年の挨拶があり、「今年は申年、三猿が有名です。お互い意見を出し合い決まったことを実践していこう。理事会は同友会理念で一致し、相手を傷つけたりせず、お互いの違いを認めあっていこう」と述べました。

■報告事項

1)中同協事務局長会議(12/10~11)の報告(伊藤事務局長)

千葉同友会、石川同友会の活動事例を報告。黒瀬教授の講義より、「独立型中小企業への脱皮」の紹介があった。参考書籍:独立中小企業をめざそう(黒瀬直弘著 同友館発行)

2)東北ブロック事務局研修(12/18 盛岡)(高橋事務局次長)

6年ぶりの開催で、山形から1名が参加。ポイントとして、「つながる、つなげる・たしかめる・変える」を紹介し、運動の主体者である会員と両輪となる関係をつくり、事務局として同友会理念を体現していくことを学んだと報告。

3)中同協新春幹事会(1/8~9)の報告(西塔代表理事、矢作事務局次長)

はじめに西塔代表理事より、過去最高の参加者だったと紹介。中同協分担金値上げについて多くの意見が出され、さらに各地で議論をして、3月幹事会で再度討議する。値上げ時期を変更することになった。

矢作事務局次長より、北海道同友会の守代表理事の発言が紹介された。

4)伊藤事務局長退職(1/29付)の報告(西塔代表理事)

5)2015年12月月次決算報告(矢作事務局次長)

■承認事項(入会承認) 9名入会 1名退会 1/13日現在 454名

■討議事項

議題1:第27回社全交のまとめについて

小林副実行委員長より、第27回社全交のまとめ(開催地のまとめ)、収支報告があり、確認された。参加目標が、予定よりかなり少なかったが、中同協の支援(資料作成の内政化)、会場代の削減により、黒字となったことが報告された。中同協社員共済委員会(1/29~30)で報告し、3月中同協幹事会で承認される。

議題2:増強月間の取り組みについて

安藤理事が現在の会員数は、まだ目標に達成していないが、今月9名の入会があったことに御礼を述べた。また、全国では、45,000名を突破したことを紹介した。

30周年記念式典まで500名達成をめざし、引き続き増強の協力依頼があった。

同友会の専門委員会やツールを紹介し、やめない組織を作るために、「委員会だより」の発行の提案があり、承認された。

*「委員会だより」(仮称)の内容は下記のとおり。

- ・第1号は全委員長・部会長から、300文字程度の紹介文を書いていただく。
- ・各委員会・部会の趣旨や何をしているのかを、一般会員がわかりやすく。
- ・同友会ニュース3月号(2月末発送)に同封する。
- ・第2号以降は、1委員会(部会)を取り上げて発行する。(委員会(部会)内での、活動紹介・行事案内・報告等々)

*同友会パンフレットについて、

①PRチラシ作成の準備中

②新年度に、「新パンフレット作成」の提案があり、検討する。

議題3:30周年記念式典について

実行委員長の菅原副代表理事より、1/18日現在の参加者数が報告され、参加動員の要請があった。タイムスケジュールと役割分担の最終確認をした。

議題4:第32回定時総会の開催について

実行委員長の高橋理事より、第1回実行委員会の報告と、記念講演の講師として、村上龍男氏 加茂水族館 元館長の提案があり承認された。定時総会日程、会場等は、講師の方と打ち合わせをし、決定する。

実行委員会の役員案が提案され、承認された。

①実行委員名簿

実行委員長	山 高橋 明				
副実行委員長	山 越前屋忍	小川大輔			
実行委員	山 伊藤 誠	齋藤 源	笹木浩二	佐藤 啓	
(各支部)	寒 鏡 芳昭	佐藤弘康			
	さ 齋藤和彦	高木康典			
	置 加賀久也	庄 司 薫			
	新 小寺 祐也				
	新 佐藤奈緒	田中雅樹			
常任理事	青柳 等	後藤智樹	菅原茂秋		

西塔代表理事より、2016年度議案書草案についての説明があり、2月理事会に提案することとなった。

議題5:事務局業務改善について

西塔代表理事より、改善提案(第1次案)の説明があり、事務局のあり方を確認し、当面はe.doyu利用者を増やし、出席確認業務、印刷業務を削減するために、各会議資料持参の協力依頼があった。

議題6:事務局員募集について

現在、ハローワークに募集中。・2/3(水)13:30~面接予定

■その他

1)中同協第46回全研in香川(2/18~19)について (目標数:3名)

*出席予定:西塔氏、後藤氏、菅原氏、矢作事務局次長

2)東日本大震災復興シンポジウム(3/10~11 福島・宮城)について

3)3月理事会日程の変更依頼があり、下記の日程が決まった。会場は決まり次第連絡する。

	日 時	会 場
第11回理事会	2月15日(月)14:00~16:00	産業創造支援センター
第12回理事会	3月 7日(月)14:00~16:00	

4)新年度の役員人事について、2月理事会から議論していくことを確認した。それに合わせて、役員選考委員の人選をすすめていく。

*新年度予算編成の時期となり、支部、委員会から予算要望を出すことを確認した。

■閉会挨拶(川合相談役理事)

民主的な運営をめざし、理事会でしっかり意見を出し合っていくことが大事です。そのために事前にレジメ、資料に目をとめて理事会に臨んでいきましょう。

新会員紹介

◎佐藤博之氏

北日本白衣山形(株)
代表取締役
白衣販売
山形支部

◎伊藤 歩氏

山形輸送(株)
常務取締役
運送業
山形支部

◎土田 剛氏

㈱マネジメント・オフィス・ツチダ
代表取締役
労務管理
寒河江支部

◎齋藤 章氏

齋藤章電気管理事務所
代表
電気保管理
新庄最上支部

◎渋谷辰生氏

からいち山形本店
店主
飲食業
山形支部

◎酒井淳一氏

㈱ポップアップクリエイト
代表取締役
農業コンサルタント
山形支部

◎篠原憲夫氏

カーサポートフェイス
代表
自動車修理販売
山形支部

◎角田浩二郎氏

(有)尚文堂
常務取締役
看板・各種サイン製作
寒河江支部

◎鍵水浩行氏

(有)ミズキ商運
代表取締役
貨物取扱業
山形支部

支部・会員名・ 企業名・ 役職変更

- ㈱佐藤防災 代表取締役会長 佐藤哲雄氏(置賜支部)⇒常務取締役 佐藤陽介氏に変更
- Hair with Water ディレクター 赤塚治美氏(山形支部)⇒㈱Hair with Water 代表取締役に変更
- ファイナンシャルアライアンス(株)山形中央支店 支店長 佐藤慶一氏(寒河江支部)⇒(有)ハッピー 代表取締役に変更
- 社会保険労務士法人西塔事務所 東達也氏(山形支部)⇒ひがし社会保険労務士事務所 所長に変更

同友やまがた2月号(2016年2月1日発行/通巻275号)

From Editor



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp